

平成 26 年 7 月 13 日 (日) 施行

第 175 回 全経簿記能力検定試験 1 級 工業簿記 解説

第 1 問

1. 原価計算基準 前文 参照
2. 原価計算基準 第二章 一六 原価部門の設定(二) 参照
3. 原価計算基準 第二章 二九 連産品の計算 参照

第 2 問

1. 製造指図書 # 13、# 14 ⇒ 仕掛品 製造指図書番号なし ⇒ 製造間接費
2. 未払賃金給料の計上 相手勘定は賃金給料
3. A 補助部門費 ¥970,000
 ⇒ 第 1 製造部門費 (60%) ¥582,000 第 2 製造部門費 (40%) ¥388,000
 B 補助部門費 ¥780,000
 ⇒ 第 1 製造部門費 (45%) ¥351,000 第 2 製造部門費 (55%) ¥429,000
 第 1 製造部門費 ¥582,000 + ¥351,000 = ¥933,000
 第 2 製造部門費 ¥388,000 + ¥429,000 = ¥817,000
4. 作業くず ¥56,000 を A 組仕掛品から控除する。
5. ¥24,000 を値引きし、売掛金と相殺する。
6. 工場と本社の仕訳は以下のとおりである。工場側の仕訳が解答となる。

(本社)	(借)	製	品	1,258,000	(貸)	工	場	1,258,000	
(工場)	(借)	本	社	1,258,000	(貸)	仕	掛	品	1,258,000

第 3 問

(1) 直接労務費法

製造間接費年間予算額 / 年間直接労務費 = ¥13,000,000 / ¥20,000,000 = 65%

直接労務費の 65% を製造間接費として配賦する。

製造指図書 # 20 の直接労務費は @ ¥1,250 × 340 時間 = ¥425,000

製造間接費配賦額は ¥425,000 × 65% = ¥276,250

製造原価は ¥374,000 + ¥42,000 + ¥425,000 + ¥276,250 = ¥1,117,250

(2) 直接費法

製造間接費年間予算額 / 年間直接費合計額

= ¥13,000,000 / (¥11,000,000 + ¥20,000,000 + ¥1,500,000) = 40%

直接費の 40% を製造間接費として配賦する。

製造指図書 # 20 の直接費は ¥374,000 + ¥42,000 + ¥425,000 = ¥841,000

製造間接費配賦額は ¥841,000 × 40% = ¥336,400

製造原価は ¥841,000 + ¥336,400 = ¥1,177,400

第4問

1. 材料の消費

先入先出法で計算するので、払出高は以下のとおりとなる。

(借) 第1工程仕掛品	733,200	(貸) 材	料	733,200
-------------	---------	-------	---	---------

材 料

月初棚卸高	600kg @¥130	600kg @¥130	¥78,000
当月仕入高	6,000kg @¥126	5,200kg @¥126	¥655,200
		800kg @¥126	¥100,800

$$¥78,000 + ¥655,200 = ¥733,200$$

2. 賃金の消費

(借) 第1工程仕掛品	911,000	(貸) 賃	金	2,009,000
第2工程仕掛品	1,098,000			

賃 金

当 月 支 払	¥2,029,000	¥201,000	月初未払高
		¥911,000	第1工程仕掛品
月 末 未 払 高	¥181,000	¥1,098,000	第2工程仕掛品

$$\text{当月消費高} = ¥2,029,000 + ¥181,000 - ¥201,000 = ¥2,009,000$$

→第1工程仕掛品 取引2より¥911,000

→第2工程仕掛品 ¥2,009,000 - ¥911,000 = ¥1,098,000

3. 経費の消費

(借) 第1工程仕掛品	(貸) 経	費
第2工程仕掛品		

経 費

月初前払高	¥47,800	¥227,800	第1工程仕掛品
当月支払高	¥428,000	¥274,000	第2工程仕掛品
減価償却累計額	¥78,000	¥52,000	月末前払高

$$\text{当月消費高} = ¥47,800 + ¥428,000 + ¥78,000 - ¥52,000 = ¥501,800$$

→第1工程仕掛品 ¥501,800 - ¥274,000 = ¥227,800

→第2工程仕掛品 取引3より¥274,000

4. 第1工程

(借) 第2工程仕掛品	1,764,000	(貸) 第1工程仕掛品	1,944,000
半製品	180,000		

第1工程仕掛品

(平均法)

①	¥134,800	1,000			
②	¥137,200	(600)	4,900		¥1,764,000
③	¥733,200	5,200	500		¥180,000
④	¥1,138,800	(5,200)	800	①	¥112,000
			(400)	②	¥88,000
					¥200,000

平均法により、

$$\text{材料費単価} = \frac{\text{¥134,800} + \text{¥733,200}}{1,000 \text{ 個} + 5,200 \text{ 個}} = \text{@ ¥140}$$

$$\text{加工費単価} = \frac{\text{¥137,200} + \text{¥1,138,800}}{600 \text{ 個} + 5,200 \text{ 個}} = \text{@ ¥220}$$

期末仕掛品の評価は

$$\text{材料費} \quad \text{@ ¥140} \times 800 \text{ 個} = \text{¥112,000}$$

$$\text{加工費} \quad \text{@ ¥220} \times 400 \text{ 個} = \text{¥88,000}$$

$$\text{第1工程払出単価} \text{ ¥140} + \text{¥220} = \text{¥360}$$

$$\rightarrow \text{第2工程仕掛品} \quad \text{@ ¥360} \times 4,900 \text{ 個} = \text{¥1,680,000}$$

$$\rightarrow \text{半製品} \quad \text{@ ¥360} \times 500 \text{ 個} = \text{¥180,000}$$

5. 第2工程

(借) 製品		(貸) 第2工程仕掛品	
副産物			

第2工程仕掛品

(先入先出法)

①	¥210,000	600			
②	¥90,000	(300)	4,800		¥3,158,400
③	¥1,764,000	4,900	200		¥41,600
④	¥1,372,000	(4,900)	500	①	¥180,000
			(200)	②	¥56,000
	¥3,436,000				¥236,000

先入先出法により

$$\text{前工程費単価} = \frac{\text{¥1,764,000}}{4,900 \text{ 個}} = @ \text{¥360}$$

$$\text{加工費単価} = \frac{\text{¥1,372,000}}{4,900 \text{ 個}} = @ \text{¥280}$$

期末仕掛品の評価は

$$\text{前工程費} @ \text{¥360} \times 500 \text{ 個} = \text{¥180,000}$$

$$\text{加工費} @ \text{¥280} \times 200 \text{ 個} = \text{¥56,000}$$

$$\text{¥3,436,000} - \text{¥236,000} = \text{¥3,200,000}$$

$$\rightarrow \text{副産物 取引5より} \text{¥41,600}$$

$$\rightarrow \text{製品} \text{ ¥3,200,000} - \text{¥41,600} = \text{¥3,158,400}$$

よって完成品単位原価は

$$\text{¥3,158,400} / 4,800 \text{ 個} = @ \text{¥658}$$

6. 製品の販売と売上原価の計上

(借) 売上原価	3,287,300	(貸) 製品	3,287,300
----------	-----------	--------	-----------

製 品

(先入先出法)

¥589,500	900 個 @¥655	5,000 個	
¥3,158,400	4,800 個 @¥658	700 個 @¥658	¥3,287,300
¥3,747,900			¥460,600

先入先出法により

$$\text{期末製品の評価は} @ \text{¥658} \times 700 \text{ 個} = \text{¥460,600}$$

$$\text{よって売上原価は} \text{ ¥3,747,900} - \text{¥460,400} = \text{¥3,287,300}$$

7. 半製品の販売と半製品売上原価の計上

(借) 半製品売上原価	184,110	(貸) 半製品	184,110
-------------	---------	---------	---------

半 製 品

(平均法)

¥36,600	100 個 @¥366	510 個 @¥361	
¥180,000	500 個	90 個 @¥361	¥184,110
¥216,600			¥32,490

平均法により、

$$\text{半製品単価} = \frac{\text{¥36,600} + \text{¥180,000}}{100 \text{ 個} + 500 \text{ 個}} = @ \text{¥361}$$

$$\text{期末製品の評価は} @ \text{¥361} \times 90 \text{ 個} = \text{¥32,490}$$

$$\text{半製品売上原価は} @ \text{¥361} \times 361 \text{ 個} = \text{¥184,110}$$

8. 副産物の販売と副産物売上原価の計上

取引8より、副産物売上原価は¥39,600である。

(借) 副産物売上原価	39,600	(貸) 副産物	39,600
-------------	--------	---------	--------

副産物

¥8,400	40個 @¥210	190個	¥39,600
¥41,600	200個		
¥50,000		50個	¥10,400

副産物売上原価が¥39,600なので期末副産物の評価は $¥50,000 - ¥39,600 = ¥10,400$

9. 費用勘定を月次損益へ振替

(借) 月次損益	3,287,300	(貸) 売上原価	3,287,300
(借) 月次損益	184,110	(貸) 半製品売上原価	184,110
(借) 月次損益	39,600	(貸) 副産物売上原価	39,600